

ソラマメ属植物の核型分析 II

近藤 昭 一 郎

Syoichiro KONDO : Karyotype Analysis in *Vicia*

筆者は前号において、ソラマメ属植物のうち3種1変種1品種について核型を分析し、報告したが、このたび更に4種の核型を分析したので報告する。

材料および方法

核型の観察方法は前回と同様であつて、材料として用いた植物は Table 1 の通りである。

Table 1. 材料として用いた植物

植 物 名	2n	産 地
<i>Vicia sativa</i> L.	12	市 販
<i>V. pseudo-Orobus</i> FISCHER et MEYER	12	三田市天神
<i>V. amoena</i> FISCHER	24	三田市天神
<i>V. unijuga</i> AL. BRAUN	24	三田市桑原

観 察 結 果

1. コモンベツチ *Vicia sativa* 2n = 12

(Figs 1,5 : Table 2)

本種は一名ザートウイツケンとも呼ばれ、牧草として栽培されているもので、材料としては市販の種子を用いた。体細胞染色体は12個あり、6種類に区別できる。染色体の大きさは最大が4.8μで最小は2.4μであり、最大の1対(1,2)は median に着糸点を有し、附随体らしいものが観察された。次の2対(3,4;5,6)はsubmedianに。残りの3対(7,8;9,10;11,12)はsubterminalに着糸点を有する。このうち1対(7,8)の短腕は非常に離れやすい性質を持つている。核型は次の式で表わすことができる。

$$K(2n) = 12 = 2A + 2B + 2C + 2D + 2E + 2F$$

Table 2. コモンベツチの体細胞染色体の長さ

染 色 体	長腕	短腕	計	着糸点
A 1, 2	20	20	40	m
B 3, 4	20	18	38	sm
C 5, 6	20	12	32	sm
D 7, 8	25	5	30	st
E 9, 10	25	3	28	st
F 11, 12	15	5	20	st

2. オオバクサフジ *V. pseudo-Orobus* 2n = 12

(Figs 2,6 ; Table 3)

体細胞染色体は12個あり、6種類に区別できる。染色体の大きさは最大が7.2μで最小は4.2μである。染色体の着糸点は最大の1対(1,2)はsubmedianにあり、1

対(3,4)は median にある。次の2対(5,6;7,8)はsubterminalにあり、このうち1対(5,6)の短腕は極端に短かく、そして離れやすい性質を持つている。

次の1対(9,10)はsumedianであり、最小の1対(10,12)はsubterminalである。核型は次の式で表わすことができる。

$$K(2n) = 12 = 2A_1 + 2A_2 + 2B_1 + 2B_2 + C + 2D$$

Table 3. オオバクサフジの体細胞染色体の長さ

染 色 体	長腕	短腕	計	着糸点
A ₁ 1, 2	40	20	60	sm
A ₂ 3, 4	30	30	60	m
B ₁ 5, 6	40	5	45	st
B ₂ 7, 8	35	10	45	st
C 9, 10	25	15	40	sm
D 11, 12	25	10	35	st

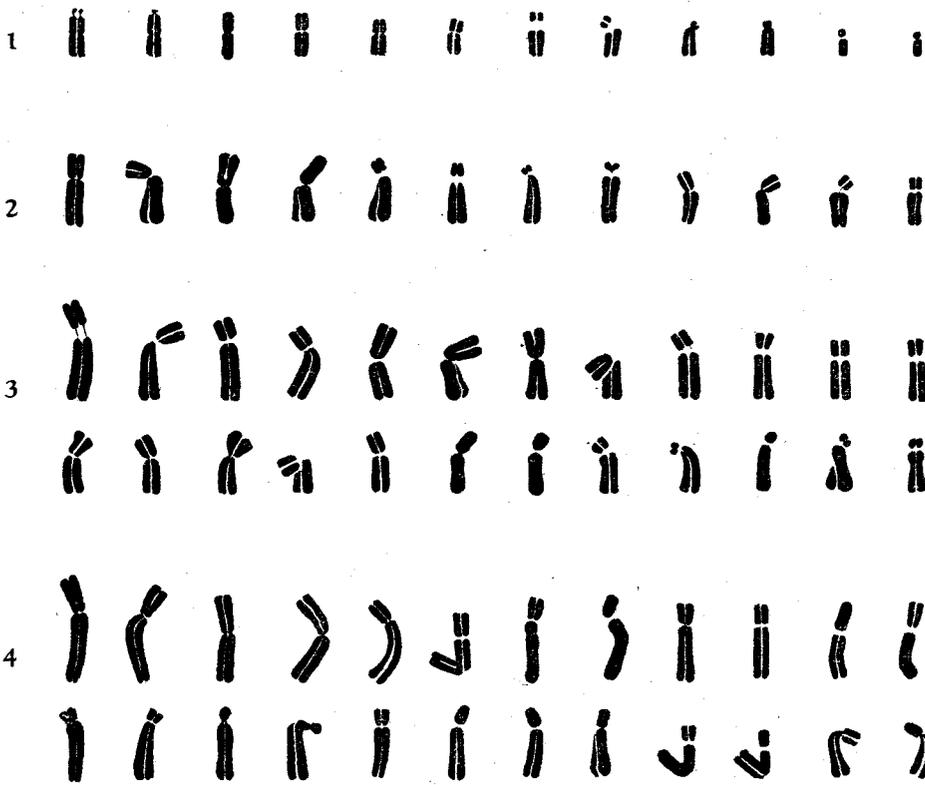
3. ツルフジバカマ *V. amoena* 2n = 24

(Figs 3,7 ; Table 4)

体細胞染色体は24個あり、形と大きさから8種類に区別できる。染色体の大きさは最大が8.4μで最小は4.8μである。着糸点は median のものが1対(5,6)あり、submedian のものは4対(7,8;13,14;15,16;17,18)ある。このうちの1対(7,8)は非常に median に近いsubmedianである。subterminal のものは7対(1,2;3,4;9,10;11,12;19,20;21,22;23,24)あり核型は次の式で表わすことができる。

$$K(2n) = 24 = 2A + 2B + 2C + 2D + 4E + 6F + 2G + 4H$$

Table 4. ツルフジバカマの体細胞染色体の長さ



ソラマメ属植物の体細胞染色体 × 1800

Figs 1,5 コモンベツチ

Figs 2,6 オオバクサフジ

Figs 3,7 ツルフジバカマ

Figs 4,8 ナンテンハギ